

内閣府同時発表

平成31年 3月 1日
北陸地方整備局道路部

中山間地における道の駅等を拠点とした自動運転サービス 「やまこし復興交流館おらたる」において実証実験を開始

～高齢者が作る地元食材の貨客混在輸送や見守り活動により高齢者の生活を支援～

「やまこし復興交流館おらたる」(新潟県長岡市) を拠点とした自動運転サービスについて、実証実験を3月17日(日)から開始します。

国土交通省は、内閣府SIPの枠組みの中で、高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保のため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの2020年までの社会実装を目指し、平成29年度より実証実験を行っています。

このうち、「やまこし復興交流館おらたる」を拠点とした自動運転サービスについては、平成29年度にフィージビリティスタディを行う箇所として選定され、主にビジネスモデルの具体化に向けた検討を行ってきました。

今般、本実証実験では、高齢者の移動の支援、地元野菜を使用したお弁当の配達や高齢者の見守り、小中学生の安全な移動や見守り支援について行うこととしましたので、お知らせします。

また、実証実験の開始に合わせ下記の通り試乗会を行います。

【概要】

1. 実験期間 : 平成31年3月17日(日)～3月23日(土)
2. 実験ルート : やまこし復興交流館おらたる～油夫地区(アルパカ牧場)
～山古志小中学校～やまこし復興交流館おらたる
3. 試乗会の開催 : 実施日 平成31年3月17日(日) 11時00分から
場所 やまこし復興交流館おらたる(新潟県長岡市山古志竹沢甲 2835)
内容 挨拶、実験概要説明、実験車両試乗 等

※報道機関の方で取材、実験車両への試乗をご希望の方は、3月12日(火)17時までに、別紙のFAX用紙にて申し込みをお願いします。



※本実験は、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動走行システムのプロジェクトの1つとして実施するものです。

<問い合わせ先>

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 地域道路課長 やまぎし たかひろ
山岸 隆宏
直通: 025-370-6742

<同時発表記者クラブ>

新潟県政記者クラブ 新潟県政記者クラブ その他・専門紙

山古志地区自動運転実験開始試乗会

- (1) 日 時 平成31年3月17日(日) 11:00から
- (2) 試乗会場 やまこし復興交流館おらたる(長岡市山古志竹沢甲2835)
- (3) 主催 「やまこし復興交流館おらたる」を拠点とした自動運転サービス地域実験協議会
- (4) 試乗会行程
 - 受付 10:30~
 - 試乗会 11:00~
 - ①挨拶
 - ②概要説明
 - ③写真撮影
 - ④試乗

終了 12:00頃

※試乗会終了後、事前に試乗を希望されている報道機関の方々の実験車両の試乗を予定しています。

■会場位置図



やまこし復興交流館
おらたる

※当日は、駐車場案内係の指示に従って駐車して頂くように、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

【実証ルート】



- ### 【実験スケジュール】
- 3月17日(日)
11:00~12:00 試乗会
 - 3月17日(日)午後 ~ 3月23日(土)
 - 【月・火】 9:00 ~ 16:00頃 実証実験(6便運行)
 - 【水・金】 8:25 ~ 16:00頃 実証実験(7便運行)
 - 【土日・木(祝)】 9:00 ~ 16:00頃 実証実験(7便運行)

(専用区間での自動運転車の走行周知の例)

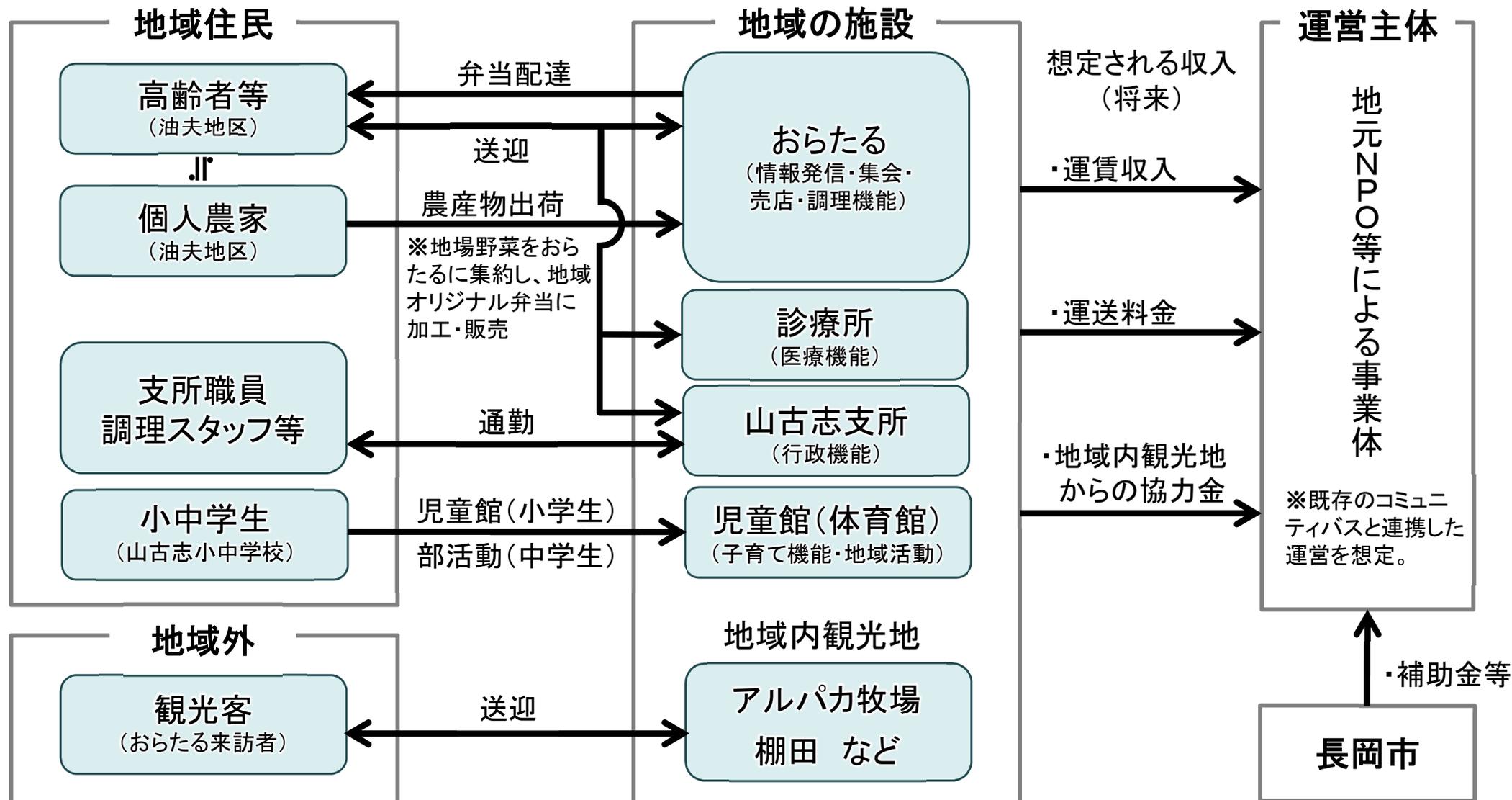


(混在区間での自動運転車の走行周知の例)



自動運転サービスの将来のビジネスモデル(案)(長岡市)

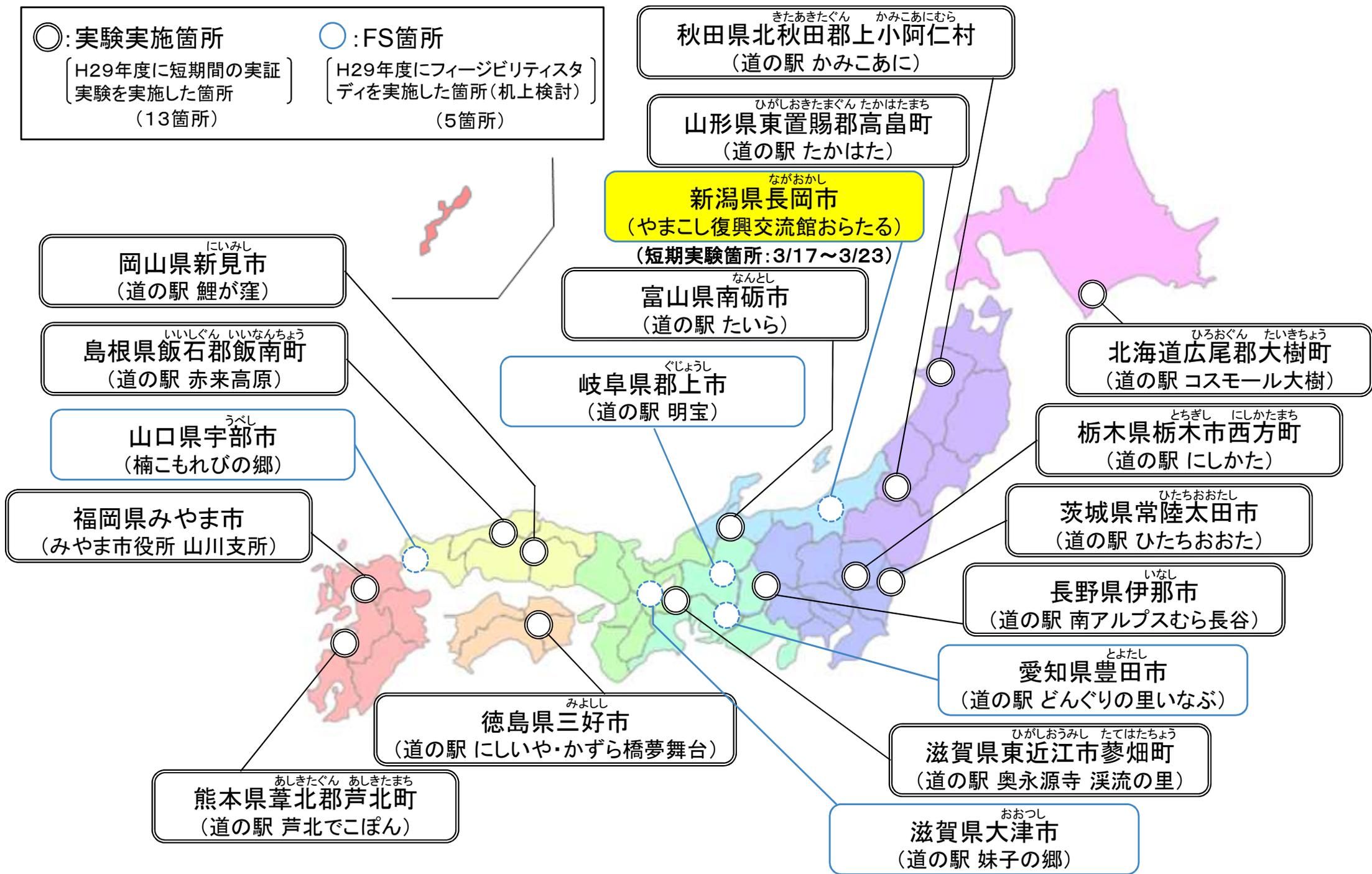
- 高齢者等をおらたるや診療所等へ送迎し、高齢者の日常的な生活の足を支援。また、小中学生の児童館等への送迎により安全な移動を支援。
- 高齢者や小中学生の送迎を通じて、住民の見守り活動や地域コミュニティを構築。
- 地場野菜をおらたるに集約し、地域オリジナル弁当に加工・販売し配達。



項目	実験において検証する内容	
①道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ○相互に円滑な通行のための道路構造の要件 <ul style="list-style-type: none"> ・後続車の追い越しや対向車の離合を考慮した幅員 ・待避所、停留所の設置 ・歩行者、自転車との分離方法 ・自動運転車の走行路の明示 ○運行管理の方策 <ul style="list-style-type: none"> ・車両からのリアルタイム情報により運行管理 	<ul style="list-style-type: none"> ○自動運転に必要となる道路の管理水準 <ul style="list-style-type: none"> ・除排雪や凍結防止剤の散布等 ・狭小幅員 ・路肩駐停車車両
②地域環境	○降雨・降雪による、前方カメラの検知能力	○雪壁による、自動運転への影響
③コスト	○電磁誘導線の整備、維持管理コスト	○車両の維持管理コスト
④社会受容性	<ul style="list-style-type: none"> ○自動運転技術への信頼性、乗り心地 ○公共交通に自動運転技術が導入されることへの意識 	○自動運転車が地域内を走行することへの受容性
⑤地域への効果 (ビジネスモデルの検討)	<p><提供サービスについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域住民の外出を支援する実験 <ul style="list-style-type: none"> ・診療所、公共サービスへの移動支援 ○小学生・中学生の安全な移動を支援する実験 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校から児童館・体育館への移動支援 ○観光面での活用実験 <ul style="list-style-type: none"> ・観光利用者のニーズについての検討 ○地域拠点⇄地区の集荷・宅配実験 <ul style="list-style-type: none"> ・油夫地区から地域の拠点（おらたる）へ地元野菜を集荷 ・地域の拠点（おらたる）から油夫地区へ給食弁当を宅配 <p><運営体制について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○運営体制のあり方 <ul style="list-style-type: none"> ・自治体、交通事業者等の役割分担 ○採算性確保の方策 <ul style="list-style-type: none"> ・将来の利用のニーズ（支払意思額等） ○他事業との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな連携先のニーズ検討 	

○ : 実験実施箇所
 (H29年度に短期間の実証実験を実施した箇所 (13箇所))

○ : FS箇所
 (H29年度にフィービリティスタディを実施した箇所(机上検討) (5箇所))



バスタイプ

①株式会社ディー・エヌ・エー



「車両自律型」技術
〔GPS、IMUにより自車位置を特定し、規定のルートを行
（点群データを事前取得）〕

定員： 6人(着席)
（立席含め10名程度）
速度： 10km/h程度
（最大:40km/h）

②先進モビリティ株式会社



「路車連携型」技術
〔GPSと磁気マーカ及びジャイロ
センサにより自車位置を特定
して、既定のルートを行〕

定員： 20人
速度※ 35 km/h 程度
（最大40 km/h）

乗用車タイプ

③ヤマハ発動機株式会社【今回使用】



「路車連携型」技術
〔埋設された電磁誘導線からの
磁力を感知して、既定ルート
を行〕

定員： 6人
速度： 自動時 ~12km/h 程度
手動時 20 km/h未満

④アイサンテクノロジー株式会社



「車両自律型」技術
〔事前に作製した高精度3次元
地図を用い、LiDAR(光を用い
たレーダー)で周囲を検知しな
がら規定ルートを行〕

定員： 4人(乗客2人)
速度※ 40km/h 程度
（最大50 km/h）

※速度は走行する道路に応じた制限速度に適應

GPS : Global Positioning System, 全地球測位システム IMU : Inertial Measurement Unit, 慣性計測装置

別紙

長岡国道事務所計画課 宛（FAX 番号：0258-34-3186）

「やまこし復興交流館おらたる」を拠点とした
自動運転サービス実証実験 体験試乗申込書

報道関係者の方で、試乗を希望する場合は、この様式により上記連絡先まで FAX でお申し込み下さい。

申し込み締め切りは、3月12日（火）17時までです。

◆会社名

◆試乗者数（時間の関係上、各社2名までとさせていただきます）

 人

◆テレビカメラの持ち込みの有無（該当するものに○をつけて下さい）

有 ・ 無

◆連絡先（代表者の氏名・連絡先）

<留意事項>

- ・上記の情報の扱いは、本試乗会の取りまとめのみに使用します。
- ・当日の受付時に試乗時間をお伝えします。
- ・天候等により、当日のスケジュールの変更の可能性もございますのでご留意下さい。